

---

# 2021年度 第3四半期決算について

---

**NTT**  
**docomo**

2022年2月7日

# 第3四半期決算（累計）概況

IFRS (億円)	2020年度 3Q 累計(1)	2021年度 3Q 累計(2)	増減 (2) - (1)	増減率
営業収益	35,131	35,175	+43	+0.1%
営業利益	8,218	7,696	-521	-6.3%
当社株主に帰属する四半期利益	5,669	5,359	-310	-5.5%
フリー・キャッシュ・フロー	3,836	7,150	+3,314	+86.4%
設備投資	3,605	3,766	+161	+4.5%

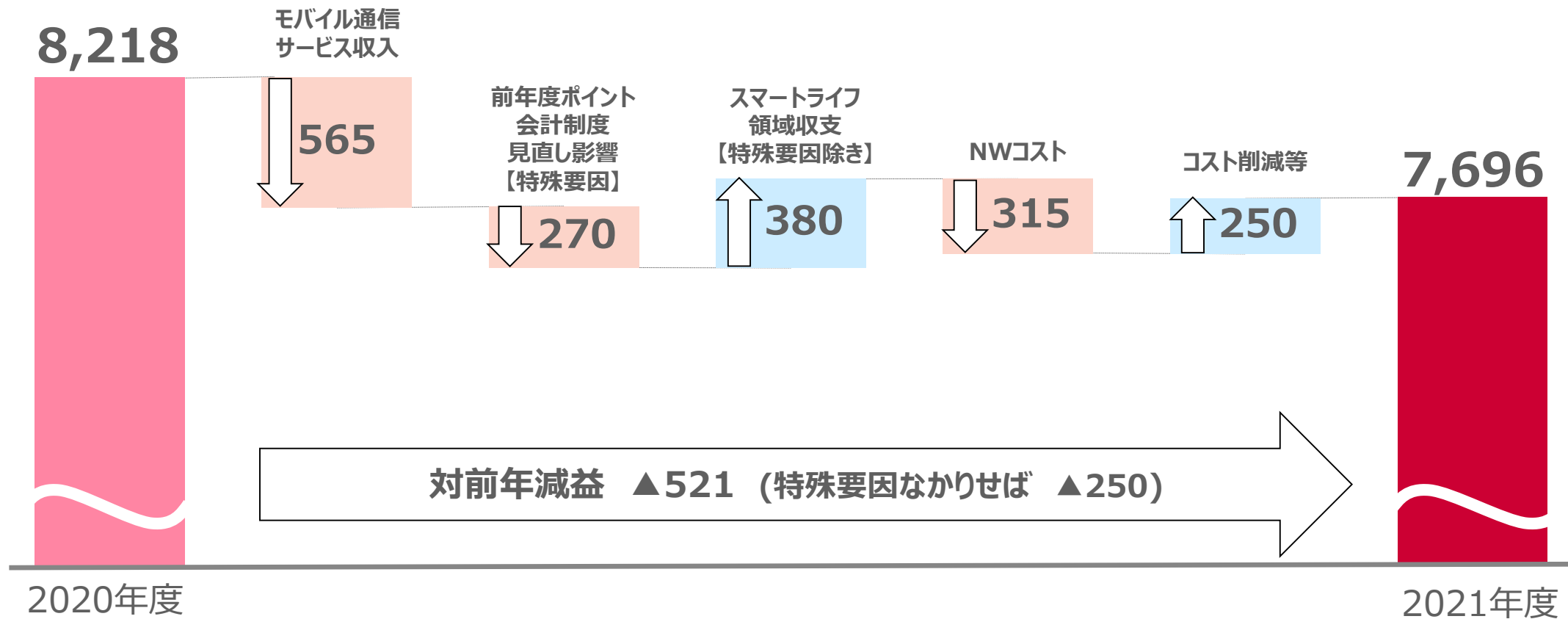
◆ フリー・キャッシュ・フロー算定にあたっては、期間3ヶ月超の資金運用を目的とした金融商品の取得、償還及び売却による増減を除く。

# セグメント別 実績

IFRS (億円)		2020年度 3Q 累計(1)	2021年度 3Q 累計(2)	増減 (2) - (1)
通信事業	営業収益	27,352	27,317	-35
	営業利益	6,440	5,723	-717
スマートライフ 領域	営業収益	8,080	8,164	+84
	営業利益	1,778	1,974	+196
スマートライフ事業	営業収益	4,706	4,668	-38
	営業利益	792	754	-38
その他の事業	営業収益	3,374	3,496	+122
	営業利益	985	1,219	+234

# 営業利益の増減要因

(億円)



# 主なオペレーション指標①

	2020年度 3Q	2021年度 3Q	増減率
dポイントクラブ会員数（万）	7,967	8,721	+9%
dポイントカード登録数	4,852	5,597	+15%
dポイント利用（億ポイント）	1,824	2,034	+12%
提携先での利用	1,279	1,554	+22%
携帯電話契約数（万）	8,175	8,385	+3%
5G契約数	141	895	-
（再）home5G契約数	-	19	-
解約率（%）	0.47%	0.59%	+0.12pt
ハンドセット解約率	0.39%	0.49%	+0.11pt
ドコモ光契約数（万）	693	725	+5%

- ◆ dポイントカード登録数は利用者の情報を登録することで、提携先でdポイントを貯める・使うことができるお客さまの数。
- ◆ dポイント利用と解約率は2021年度第3四半期累計。
- ◆ ハンドセット解約率はスマートフォンとフィーチャーフォンの解約率。

# 主なオペレーション指標②

	2020年度 3Q	2021年度 3Q	増減率
金融・決済取扱高（億円）	50,800	64,900	+28%
dカード取扱高	38,300	48,500	+27%
d払い取扱高	5,680	8,990	+58%
dカード契約数（万契約）	1,391	1,538	+11%
dカードGOLD	762	869	+14%
d払いユーザー数（万）	3,255	4,165	+28%
決済・ポイント利用可能箇所（万か所）	287	387	+35%

- ◆ 取扱高は2021年度第3四半期累計であり、dカード、iD、d払い、ダイレクトキャリアビリング、ドコモ払い等の取扱高の延べ金額。
- ◆ d払い取扱高はd払いコード決済及びネット決済、d払い(iD)決済の取扱高の合計。
- ◆ d払いユーザー数はd払いアプリダウンロード数とd払い(iD)会員数の合計。
- ◆ 決済・ポイント利用可能箇所はdポイント・iD・d払い決済（コード決済およびネット決済）利用可能箇所の合計。

# 第3四半期の主なトピックス

## ▶通信事業

### ■「エコノミーMVNO」の提供開始

- ✓ NTTコミュニケーションズが提供する「OCNモバイルONE」の取り扱い開始（2021年10月）
- ✓ フリービットグループが提供する「トーンモバイル for docomo」の取り扱い開始（2021年12月）

## ▶スマートライフ事業

### ■XR戦略実現に向け、株式会社HIKKYとの資本・業務提携に合意（2021年11月）

- ✓ “ポストスマホ”として新たな世界を実現すべく、メタバース空間（VR）とリアル空間（AR・MR）双方での事業を早期に展開

### ■株式会社メドレーと共同運営するオンライン診療・服薬指導アプリ「CLINICS」でのdアカウント連携を開始（2021年12月）

## ▶法人事業

### ■中堅・中小企業のお客さまの業務効率化や生産性向上を支援する「ビジネスdXストア」を開始(2021年12月)

### ■SA（スタンドアローン）方式の5Gサービスを提供開始（2021年12月）

- ✓ 法人のお客さま向けに提供し、新たなユースケースを創出

# 第4四半期以降の主なトピックス

## ▶通信事業

- 「home でんわ」の提供開始（2022年3月）
  - ✓ モバイルネットワークを利用した固定電話サービスを提供
  - ✓ ご利用中の電話機をサービス端末につなぐだけで利用可能（工事不要）

## ▶スマートライフ事業

- 「ドコモでんき」の提供開始（2022年3月）※先行予約キャンペーン実施中（2022年1月～）
  - ✓ dポイントによるおトクなプラン（ご利用料金につき最大10%のdポイントがたまる）
  - ✓ 「ドコモでんき Green」の提供による社会全体のカーボンニュートラルへの貢献

## ▶法人事業

- 「ビジネスdXストア」のサービス拡充。5 商材追加予定。
  - ✓ 九州・沖縄エリアから先行実施した「まるごとビジネスサポート」を全国展開予定(2022年3月)

## ▶新ドコモグループ

- NTTコミュニケーションズとNTTコムウェアの子会社化(2022年1月)
- 新ドコモグループの組織の再編成を実施(2022年7月)



あなたと世界を変えていく。

<sup>NTT</sup>  
**docomo**

# Appendix

# セグメントに含まれる主なサービス等

## 通信事業

### モバイル通信サービス

・5Gサービス      ・LTE (Xi) サービス      ・FOMAサービス      ・国際サービス      ・端末機器販売 等

---

### 光通信サービス及びその他の通信サービス

・光通信サービス      ・衛星電話サービス 等

## スマートライフ事業

### コンテンツ・ライフスタイルサービス

・dTV      ・dヒッツ      ・dマガジン      ・dショッピング      ・dヘルスケア  
・(株)NTTぶらら      ・(株)オークローンマーケティング      ・タワーレコード(株) 等

---

### 金融・決済サービス

・dカード      ・dカードGOLD      ・iD      ・d払い      ・Fintech 等

## その他の事業

### あんしん系サポート

・ケータイ補償サービス      ・あんしん遠隔サポート 等

---

### 法人ソリューション

・法人IoT      ・システム開発・販売・保守受託 等

# 予想の前提条件その他の関連する事項

本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料に記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。